

診療情報を利用した臨床研究について

虎の門病院放射線部では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた記録をまとめるものであり、研究の実施について虎の門病院の研究倫理委員会で審査を受け、病院長の許可を受けています。この案内をお読みになり、ご自身やご家族等がこの研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問がある場合、またはこの研究に「ご自身やご家族等の診療情報を使ってほしくない」とお思いになりましたら、遠慮なく下記の相談窓口までご連絡ください。

【対象となる方】

調査対象となる期間：2023年1月1日～2025年12月31日の間に、虎の門病院本院にて透視下にて末梢挿入型中心静脈カテーテル(PICC)の挿入手技を受けられた方で、成人の方を対象とします。

【研究課題名】

PICC 挿入における患者および術者被ばくの検討

(PICC:末梢挿入型中心静脈カテーテル)

【研究機関名】

虎の門病院本院

【研究の目的・背景】

PICC 挿入時の患者さんの被ばく線量を把握し、被ばく線量の減少、また透視時間の減少について検討し、安全にそして少しでも短時間で PICC 挿入手技が終了することを目的に研究を行います。

【研究のために診療情報を解析研究する期間】

2025年10月24日～2027年3月31日

【単独／共同研究の別】

虎の門病院単独研究

【個人情報の取り扱い】

お名前、ご住所などの特定の個人を識別する情報につきましては特定の個人を識別することができないように個人と関わりのない番号等におきかえて研究します。学会や学術雑誌等で公表する際にも、個人が特定できないような形で発表します。

また本研究に関わる記録・資料は、虎の門病院放射線部・小塚 拓洋のもと研究終了後5年間保管いたします。保管期間終了後、本研究に関わる記録・資料は個人が特定できない形で廃棄します。

【利用する診療情報】

日常診療ですでに取得されているPICC挿入手技時の各種撮影条件(電圧、電流、時間等)、放射線被ばく情報(皮膚面線量、面積線量)、臨床診断名、年齢、性別、身長、体重についてすでに行われた手技を解析して研究を行います。これらの情報を他の機関へ直接提供することはありません。またこの研究のために、新しく情報を取得することはありませんので、研究によって負担やリスクが生じることはありません。

【虎の門病院における研究責任者・研究機関の長】

研究責任者：放射線部 小塚 拓洋

研究機関の長：院長 門脇 孝

【研究者の利益相反事項】

本研究に関わる研究者は、研究のために企業などから資金を得ることや、研究によって収益を得ることはありません。また、研究の対象となる方へ謝礼などをお支払いすることはありません。

【研究の方法等に関する資料の閲覧について】

本研究の対象者のうち希望される方は、個人情報及び知的財産権の保護等に支障がない範囲内に限られますが、研究の方法の詳細に関する資料を閲覧することができます。

【ご質問がある場合及び診療情報の使用を希望しない場合】

本研究に関する質問、お問い合わせがある場合、またはご自身やご家族等の診療情報につき、開示または訂正のご希望がある場合には、下記相談窓口までご連絡ください。また、ご自身やご家族等の診療情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合には研究対象といたしませんので、2026年3月31日までの間に下記の相談窓口までお申し出ください。この場合も診療など病院サービスにおいて患者の皆様の不利益が生じることはありません。

なお、ご相談を頂いた時点ですでに学会・論文等で発表が済んだものについては、一度投稿したものの取り下げは困難であるため、ご希望に添えない場合がございます。

【相談窓口】

虎の門病院 放射線部 田野 政勝

電話 03-3588-1111(代表) (PHS) 7666